



志岐高便り

第182号

発行責任者
平山 啓一



携帯
サイトへ

長崎県立志岐高等学校

[TEL]0920-47-0081

長崎県志岐市郷ノ浦町片原触88

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言



先人の肩に乗る

校長 平山 啓一



コロナ禍に見舞われた令和2年もあと数日で終わろうとしていますが、第3波とも言われる感染拡大にどこか緊張感が否めません。帰省や初詣も憚られるような年の瀬ですが、医療現場の窮状や関係の方々のご苦労を思うと、私たちはとにかく感染予防を第一に考えて過ごさなければなりません。年明けには大学入学共通テストや修学旅行なども控えていますので、生徒の皆さんは気を緩めることなく、感染予防に努めてください。

さて、先月号でもお知らせしましたが、全国高校生歴史フォーラムで東アジア歴史・中国語コースの歴史論文が奈良県知事賞(全国2位相当)を受賞しました。4年連続の上位入賞の快挙は、改めて東アジアコースの歴史学研究が高く評価された証です。論文には根拠に基づいた仮説が立てられており、想像力を掻き立てられる内容でした。皆さんもぜひ読んでみてください。

ところで、本校の歴史学研究がこれほどの評価を受ける背景には、歴史遺産の宝庫である志岐島を研究対象にできるという有利性に加え、島内に日本有数の研究機関である長崎県埋蔵文化財センターが存在することにあります。実際、センターの先生方には、地表調査や論文指導など、研究の初期段階から発表準備まで熱心にご指導いただいています。本校とセンターとは、今から17年前に「原の辻歴史文化コース(現 東アジア歴史・中国語コース)」が本校に設置されて以来の関係です。当時の「原の辻遺跡調査事務所」から現センターへと引き継がれながら、本校の歴史学を支えてきていただいたと言っても過言ではありません。現在は年間40時間程度の歴史学の授業に加え、研究論文の指導も70時間に及ぶなど、手厚くご支援いただいているところです。日本唯一ともいえる最高の教育環境で学べる生徒たちは羨ましい限りです。センターの先生方には心から感謝を申し上げます。

折角ですから、普通コースにおける研究にも触れておきましょう。ご存知のとおり、2年生の理系では海洋生物観察実習に取り組んでいます。身近にある“海”を素材にして、理系を志す高校生に「自然科学に触れて、もっと興味を持ってもらいたい。そして、科学的なものの見方や考え方を身につけてほしい。」という思いで始まったこの実習も、今年で9年目となりました。ここでは魚の観察や解剖をもとに考察する活動を行います。初歩的ながらも観察結果や測定データをもとに仮説と立証するという、理系らしい研究を体験できる機会となっています。加えて、理系としての自分の適性を知る機会にもなっており、この実習のもつ意味は大きいと言えます。立ち上げ当初からご指導いただいている長崎大学水産学部の先生方をはじめ、毎年立派な魚を提供していただいている箱崎漁港さんや志岐振興局・志岐市役所の皆様に、改めてお礼を申し上げます。

「私が遠くを見渡せたのだとしたら、それは巨人の肩の上に乗っていたからだ。」

ノーベル化学賞を受賞された筑波大学名誉教授の白川英樹先生は、ニュートンの言葉を引用して「自分の受賞も先人の研究の積み重ねの上にある」と明言されます。「どんなに独創的で画期的な研究であっても、科学は先人の成果の積み重ねの上に、新たな成果を加えることで進歩する。」先人の肩に乗ることの大切さを説く先生の言葉が意味するところは、科学に限らないのではないのでしょうか。

「どうやって肩の上に乗るか？」

若い世代に対する先生の宿題です。皆さんもその答えを考えてみましょう。

第 3 学 年 よ り

今年度から始まる大学入学共通テストまで一ヶ月を切り、73回生は毎日下校時間ぎりぎりまで、一心不乱に学習に取り組んでいます。職員室には、質問に来て先生方の説明に熱心に耳を傾ける生徒がさらに増えました。SHRや面談、授業で我々教職員から73回生には「まだまだ伸びる！全力で頑張れ！」と伝えています。実際、これまで卒業していった先輩方には本番の試験で11月のマーク模試から50点以上伸ばした人が何人もいました。中には、100点以上伸ばした先輩もいました。このように生徒は最後まで伸びます！是非、ご家庭でも温かく励ましをしていただけたらと思います。

進路が決定した73回生の皆さんにつきましては、残りの高校生活を規則正しく過ごし、合格・内定に慢心することなく、自分自身の資質向上のために、学習を継続し、かつ読書や将来の職業研究などいろんなことに取り組んでください。保護者の方におかれましても、お子様が規則正しい生活を送ることができるよう今後もサポートをお願いいたします。



第 2 学 年 よ り

12月24日（木）に学年集会を行いました。「2学期を振り返り、3学期（3年0学期）への決意を固める」というテーマのもと、各クラス代表生徒が話をしてくれました。また、全国模試の結果を個人・チームで競い合うプロジェクトの結果発表及び表彰を行ったところです。

さて、2年3学期は3年0学期と位置づけられます。進路を決める受験生としてのより高い意識と洗練された行動が求められます。74回生では、来学期より「進路ノート」を作成していきます。「進路ノート」の中で自分の将来、志望校などについてまとめていくことを考えています。保護者の皆様にとっても、

お子様と将来の話をしていただく際の一助となればと思います。具体的な取り組みについてはお子様を通してお知らせします。

まもなく2020年も終わろうとしています。皆様が心身共に健康的に新年を迎えられることを祈念しています。

Survive
the New Epoch



2020 team IKI high school 74th students & teachers

第 1 学 年 よ り

臨時休校や、12日遅れての入学式などを経て、75回生もいよいよ年末を迎えます。皆さんは、昨年の今頃どのような思いで過ごしていたでしょうか。壱岐高校への入学を願って学習に励んでいた人もいたのではないのでしょうか。

2学期、新しい生活様式の中であっても授業は順調に進み、生徒が部活動で活躍できる場があり、体育祭や文化祭を通じてクラスに団結力も生まれ、それぞれカラーが出てきて賑やかです。一方で、2学期は、様々な面で、気の緩みが見える場面もありました。入学したころの初心を思い出して冬休みを過ごして欲しいと思います。

そのような中、学年では、対外模擬試験へ向けて「バーチャル入試」や「質問QUESTION」などの様々な取り組みを企画しました。志望理由書作成にも挑戦します。来年は2年生、後輩を迎える年です。今後も様々なチャンスを活用して、自分の進路実現へつなげてほしいと思います。

保護者の皆様、いつもご支援いただき有難うございます。冬休みは体調管理にご留意いただきながら、次年度へ向けて進路のことや勉強のことをお子様とたくさんお話しください。



2020 team IKI high school 75th students & teachers

壱岐高Topics!

覃先生ようこそ壱岐高校へ！

中国語コースの講師として、今年度4月から赴任する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症防止のため来日が延期とっておりました。ついに1月から生徒の皆さんに直接授業することができるようになりました。中国語コースの生徒の皆さんは、より充実した内容を学んでいってほしいと思います。



「上海外国語大学から参りました、中国語講師の覃荟庚（シン・カイコウ）と申します。中国湖北省生まれです。半年間の遠隔授業を経て、やっと壱岐に来ることができました。中国語国際教育学科の大学院1年生です。壱岐高校の

中国語コースの皆さんと一緒に学習することをとても楽しみにしています。そして、皆さんの中国語学習のお役に立てれば幸いです。よろしくお願いいたします。」



コース発表会の様子です
(次頁記事参照)



1月行事予定 ①1年 ②2年 ③3年

1	金	【元旦】 年始休暇	
2	土	年始休暇	
3	日	年始休暇 任意自学会③	
4	月	大学入学共通テストプレ(Kパック)③	
5	火	大学入学共通テストプレ(Kパック)③	
6	水	冬季補習①②③	
7	木	冬季補習①②③ 壱岐高テスト②	
8	金	始業式 大掃除 壱岐高テスト①②	
9	土	土曜学習会①②③ 自学会③(PM)	
10	日	全員自学会③	
11	月	【成人の日】 任意自学会③	
12	火		
13	水		
14	木	大学入学共通テスト出陣式③ 考査時間割発表③ 修学旅行結団式②	
15	金	大学入学共通テスト会場設営(2h授業)	SC
16	土	大学入学共通テスト 進研実力テスト(5教科)②	
17	日	大学入学共通テスト 進研実力テスト(5教科)②	
18	月	大学入学共通テスト自己採点③(AM) 修学旅行②	SC/ SSW
19	火	修学旅行② 特編Ⅱ期開始	
20	水	修学旅行②	
21	木	修学旅行② 学年末考査③	
22	金	学年末考査③	SC
23	土	進研実力テスト(3教科)①	
24	日	第3回英検一次	
25	月	学年末考査③ 三者面談③	SSW
26	火	学年末考査③ 三者面談③	
27	水	考査返却特別時間割③ 三者面談③	
28	木	考査返却特別時間割③	
29	金	考査返却特別時間割③	SC
30	土	土曜学習会①②③	
31	日		

各分掌から

生徒支援部より

生徒の皆さんへ：慌ただしく過ぎた2学期でしたが、規則正しい生活を送ることができましたか。携帯電話・スマートフォンの使用について、高校生が犯罪に巻き込まれ命を落とす事例も増加しています。壱岐も例外ではなく、身近に迫る問題に危機感を抱いて欲しいと思います。

保護者の皆様へ：「中学生・高校生の冬季休業中における生活指導について」というプリントが面談時、または通知表に同封され各ご家庭に配付しています。また2学期終了式時に、生徒用に「冬季休業について」というプリントを配付しております。今一度お子様とともにご覧いただき、壱岐高生らしい生活を送ることができますよう、ご指導お願いします。特に、情報機器端末の普及に伴うトラブルが増加しております。LINEやSNS等の利用に関するマナーの向上、他者とのコミュニケーション能力の向上の必要性について、お子様とご確認ください。また、規則正しい充実した生活を送っていただくとともに、お子様を事故から守り犯罪や非行に巻き込ませないよう、ご家族における十分な監督・ご指導をお願いいたします。

進路支援部より

3年生のみなさん。いよいよ、共通テストが迫ってきましたね。長崎県全体では新型コロナウイルスの新規感染者が連日のように報道されていることもあり、例年以上に不安や緊張が高まる中、日々の学習も大変だろうと思います。そのような中で合格に近づくための確実な行動があるとなれば、「毎日の継続」そして「考える学習」だと思います。共通テストでは、皆さんの「考える力」がこれまで以上に試されることとなります。考える努力を続けて、ぜひ合格を勝ち取ってください！

1・2年生の皆さん。君たちの先輩は今、共通テストに向かって日々奮闘しています。そして、1年後、2年後は、君たちがその立場に立つのです。これから年末年始を迎えますが、このお休みの期間をどう過ごすかが、一つの大事な分岐点です。1年後、2年後の自分自身のため、君たちにとって大切な人たちのために、毎日の勉強を根気強く続けましょう。がんばれ！壱岐高生！！

東アジア歴史・中国語 コース

東アジア歴史・中国語コース発表会

12月13日（日）にコース発表会を行いました。今回はコロナ拡散防止のため会場の様子をZoom配信するという新たな試みをしました。これまでにない取り組みでしたが、内容は画期的なものでした。特にわずか1週間足らずで趣向を凝らした動画を作成した3年生の発表は、これからのコースの活動に先鞭をつけるものでした。1・2年生もこれに負けずがんばってくれると思いますので、これからのコース生の活躍にご期待ください。

